



## 未来へつなぐ平和の学び

2月26日に、6年生が大阪国際平和センター（ピースおおさか）を見学しました。

到着後、まず講堂で映画「どうぶつたちのねがい」を鑑賞しました。戦時中の天王寺動物園で起きたできごとをもとにした作品で、戦争が人だけでなく動物たちの命にも大きな影響を与えたことを学びました。静かな会場で、子どもたちは最後まで真剣にスクリーンを見つめ、それぞれが感じたことを心に刻んでいる様子でした。館内では、グループに分かれて戦時中の人々の暮らしについて調べました。昭和20年の大阪大空襲を中心とした展示資料や写真、映像を前に、子どもたちは言葉少なに、しかし真剣な表情で見つめていました。遠い昔のできごととしてではなく、「同じ大阪で起きたこと」として受け止めようとする姿が印象的でした。「どうしてこんなことになってしまったのかな」「当時の人はどんな気持ちだったのだろう」「もし自分がその時代に生きていたら、どうしていただろう」など、友達と小さな声で話し合いながら考える姿が印象的でした。



子どもたちにとって、平和について学ぶとともに、自分たちの日常の尊さを見つめ直す1日にもなりました。家族と安心して食卓を囲むこと、学校へ通い友達と笑い合うこと、好きなことに挑戦できること。そうした当たり前毎日が、どれほど大切なものかを、資料や映像を通して実感していました。歴史を学ぶことは、過去を知るだけでなく、よりよい未来を考える力を育てることであります。

世界に目を向けると、今もなお紛争や対立が続いている地域があります。報道を通して目にする出来事は遠くのここのように感じられるかもしれませんが、私たちの暮らしともどこかでつながっています。だからこそ、これからの時代を生きる子どもたちには、違いを認め合い、対話を大切にしながら理解し合おうとする姿勢を身に付けてほしいと願っています。学校生活の中で、友達との意見の違いを話し合いで乗り越えること、相手の気持ちを想像すること、思いやりのある言葉を選ぶこと—そうした日々の積み重ねが、平和な社会を支える力になります。平和は特別な誰かがつくるものではなく、一人一人の心と行動から生まれるものです。思いやりのある言葉を選ぶこと、困っている人に手を差し伸べること、互いを尊重すること—そうした日々の積み重ねが、やがて社会全体の平和へと広がっていくように思います。

世界では、今でも戦争や紛争により多くの人の命が失われています。日本の小学生と同じ年齢の子どもたちが銃を持って戦っている国もあります。家族を離れ離れにしたり、幼い子どもまで巻き込んだりもします。戦争は、悲しいことに人間が起こすものです。しかし、戦争を止めることができるのも人間です。これからの未来を担う子どもたちが、「戦争」のない平和な未来をつくる大人に成長することを願っています。そして、対立ではなく対話を選び、争いではなく協力を選ぶことのできる大人へと成長してほしいと心から願っています。



今日の校外学習で一番心に残ったこと

私が、心に残ったのは、防空ごうです。ほたるの墓を見たことあり、防空ごうに興味があって実際、入ってみると、天上は低く、中もうすぐ近くてこわかったです。

★この中で暮らす人々は、防空ごうの中にも、けむりが入り、体験してわかることある!!にげ場がなく、とてもこわかったらうな、と思いました。

このことから戦争のおそろさを学び、★平和に暮らすことの大切さをあらためて感じました。  
初顔だね!!

今日の校外学習で一番心に残ったこと

Dゾーンの焼夷弾が落ちる映像を見て、焼夷弾が空中でバラバラにちかされて落ちていくのを見てると、絶望感がハンパな感じです。その後、連鎖のように爆発してどんとどん火焼え広がっていくのを見てると、胸がぐとなりました。戦争では、アニメとかでしかないようなことも平然と起こるから、二度としてはいけないと思いました。  
知ってる大甲でね!!

## のだっこ Diary

★子どもたちの学校生活の様子は、本校ホームページでも紹介しています。随時更新していますので、ぜひご覧ください。

### 【社会見学（6年生：ピースおおさか（大阪国際平和センター））】2月26日（木）

ピースおおさかに到着した時から、子どもたちの表情には「今日の学びを大切にしよう」という前向きな気持ちを感じられました。大阪環状線での移動中も、自然と声の大きさに気を付けたり、周囲の方の様子を見ながら立つ位置を考えたりする姿が見られました。見学中也、他の来館者の方々への配慮を忘れず、公共の場でのマナーを意識して行動することができました。社会の一員としての自覚をもって行動する姿が随所に見られ、学習面だけでなく、生活面においても6年生としての成長を感じる社会見学となりました。



### 【中学校体験授業（6年生）】1月15日（木）

小中連携の取組として、6年生が下福島中学校を訪問し、中学校の授業を体験しました。当日はクラスごとに分かれ、数学科・理科・社会科の授業を受けました。数学科では、算数との違いや方程式の考え方に触れ、「中学校の学習」を実感しました。理科では「謎の粉」や「謎の液体」を使った実験に挑戦し、化学反応による温度の変化に驚きの声が上がりました。社会では、中学校の教科書を使って旧石器・縄文・弥生時代の暮らしについて学びました。最後に、校区4校の6年生が講堂に集まり、中学校生活についてのお話を聞きました。4月からの生活に少し見通しをもつことができ、有意義な時間となりました。



※「校長室だより」カラー版は、本校ホームページ「配布文書」にアップしています。